

C-1 取扱説明書

2011.11/22 バージョン



【1】シンバル用設置法

ネジ止めをしない場合、取付軸の下フェルト上に付属平板を設置し、C-1 ゴム部をその上に設置します。その上からシンバルを乗せて、上フェルトを付けて締めネジでぎっちり締めます。ネジ止め加工されている場合は、上写真の様に設置済みです。フェルトをぎっちり締めなくても、ちゃんと取音出来ます。

ジャックからモノフォンプラグのシールドケーブルでアンプ、エフェクタ、ミキサー、専用オーディオインターフェイス等、音調整部に繋いで下さい。ネジ止めしない場合は、シンバルを叩きながらネジを締めて行き、弱音から強音までちゃんと取音出来る所まで締め込みます。又、使用するシンバルに対する C-1 を決定し、シンバルのカップ形状に合わせて、C-1 の共振磁性体(金属板部)を弓なりに曲げると良い取音に繋がる可能性が高いでしょう。共振磁性体は、曲げる事により変形しますので、なるべく同じシンバルに使用し続ける事を推奨致します。変形が複雑になると、ノイズの原因になります。

- 1 -

【2】ハイハット用

ハイハットでネジ止めしない場合、トップシンバルのカップ形状を考えながら、平板で抑える力により、カップ中心部に圧接される様に、共振磁性体(金属板)を s 字状にカーブさせます。



クランプの上フェルトの次に平板を入れ、C-1 ゴム部を設置し、トップシンバルを入れて、下フェルトと締め具でぎっちり締め込みます。ネジ止め加工されている場合は、上写真の様に設置済みです。ぎっちり締め込む必要はありません。

ジャックからモノフォンプラグのシールドケーブルでアンプ、エフェクタ、ミキサー、専用オーディオインターフェイス等、音調整部に繋いで下さい。大きいサイズのハイハットの場合、シールドケーブルがトップシンバルのエッジに付いてしまう場合もあるかもしれませんので、その場合は、一番近いクラッシュシンバルスタンドとかに、シールドケーブルを絡ませたり、テープ止めするなどして、ケーブルがハイハットシンバルに当たらない工夫をして下さい。又、C-1 の設置位置は、叩く位置の向かい側になる様に設置して下さい。

運搬時、ネジ止めしていない C-1 は、必ず C-1 だけを保護する為のケースに収納して運搬して下さい。ゴム部や金属板部は、繊細な作りの為、保護しないで運搬する事による破損に関して、一切保証の対象外とさせていただきます。

又、ゴム部と金属板部は取り付け取り外しが容易な為、消耗品扱いとし、破損した場合は、部品として新たに購入して下さい。

最後に、Highleads 用 MOTU オーディオインターフェイスに挿し込む場合は、ハイハットはアナログイン 6、クラッシュならアナログイン 7、ライドならアナログイン 8 に挿し込む事により、好適な調整音となります。

- 2 -

C-1 製品保証書

ご購入時に販売店より発行された領収書を、本保証書と共に、大切に保管して下さい。

正常な使用の元、ご購入より一年以内に修理が生じた場合、本保証書と販売時の領収書を提示する事により、購入された販売店様経由にて、無償修理をさせていただきます。

但し、乱暴な扱い、本取扱説明書で禁止されている使用により生じた故障、分解改造等、故意に為された破損に対する修理及びサポートは、一切行いません。又、輸送、移動、落下、火災、風水害、地震等に由り生じた故障も対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承の程、お願い申し上げます。

製造元	: 株式会社ハイリーズ
所在	: 東京都八王子市裏高尾町 190 番地 5
電話	: 050-3391-9719
ホームページ	: http://highleads.jp/
お問い合わせ先	: master@highleads.jp

【2】音の処理に関して

音の処理は、個人の好み有别れる部分ですが、特徴としては、ピックアップで取音された音は、中音部が張っており、高音部が小さくなってます。シンバル類の場合、中低音部をかなり大胆に削っても良いでしょう。設計的にドラム用ピックアップより大きい音量で取音出来るので、中低音を大胆に削って丁度良い位になります。更に高音の張りが欲しい場合、5kHz~9kHz や、12~17kHz 辺りを上げる等してみてください。当然、取り付けるシンバルの音にも由りますし、シンバル類の音は好み有别れると思いますので、自分でいろいろと弄ってみて下さい。

【3】注意事項

1. 曲げた共振磁性体は消耗品扱いになりますので、保証の対象外となりますが、共振磁性体だけの単品販売はさせていただきます。
2. C-1 は、ゴムワッシャー部が丈夫で無い為、運搬時には、必ずスタンドから取り外し、適当なケースに入れて、保護して下さい。ネジ止め加工済みのシンバルは、C-1 部に破損の原因となる圧力がかからないように充分保護するか、運搬毎にネジを外して、目的地でネジ止めし直す等して、破損しないように、細心の注意を払って下さい。そのままの状態でもケースに入れて運搬した事による破損に関しては、保証の対象外となります。
3. 電源アダプター、電源ユニット、蛍光灯等が近くにあると、ピックアップがノイズを拾います。ノイズの原因となるものからは離しましょう。又、アースを取る事により、ノイズが解消される場合もありますので、エレキギターの技術とかを模倣して、良い音作りに励んで下さい。
4. ピックアップ本体に、テープ補強をしておりますが、音質に影響はありません。
5. ネジ止め加工は、シンバルに対する特注加工でのみ行っております。

- 3 -